

川を渡る女

1. 次の物語を読んで、L子・M男・B男・D男・H男を、あなたが悪いと思う順番に並べ、その理由を書いてください。
2. 4～5人組になってください。
3. それぞれ弁護役を決めます。自分の弁護する人物になって、①悪い所を認めながらも、②仕方がなかった理由を述べ、③他の人物の問題を指摘してください。
4. 最終的に、グループの順位を決めてください。多数決や点数の平均をとったりするのではなく、互いの意見をぶつけ合いながら、みんなが納得するまで話し合ってください。

川のこちら側と向こう側に、L子と恋人M男が住んでいました。ところが、ある日、嵐で橋が流されてしまいました。L子はどうしてもM男に会いたくなって、B男にボートを貸してくれるように頼みました。B男は川の水が増えているのでボートが流されては困るので断りましたが、L子がどうしても貸してほしいと頼むので、「百万円出せば貸す」と言いました。L子は金がないので、もう一人ボートを持っているD男に貸してくれるように頼みに行きました。D男は、ボートを貸す代わりにL子に一晚デートすることを要求しました。どうしてもM男に会いたいL子はD男の要求どおりにし、川を渡ることができました。M男は喜んでL子を迎えた後、どのようにして川を渡ってきたのかを尋ねました。L子はD男とのことを正直に話しました。M男はL子のしたことを激しく怒り、「別れよう」と言いました。悲しみにくれて自殺しようと思っていたL子の話を、幼なじみでL子にあこがれていたH男がじっくりと聞いてやりました。L子の心の傷は次第にいやされ、やがて2人は結婚しました。

氏名	1	2	3	4	5
自分					
グループ					

理由